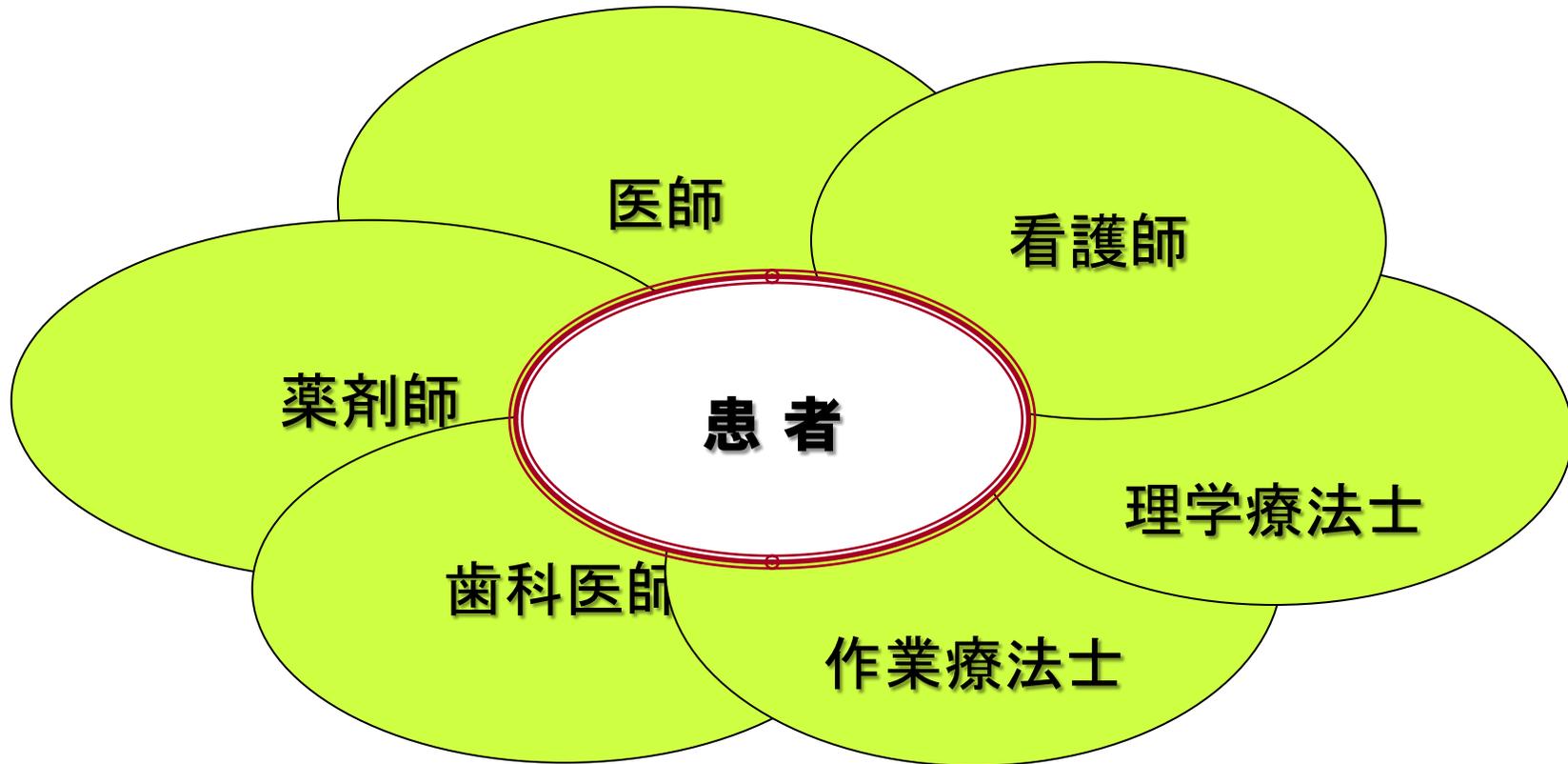


# transdisciplinary team

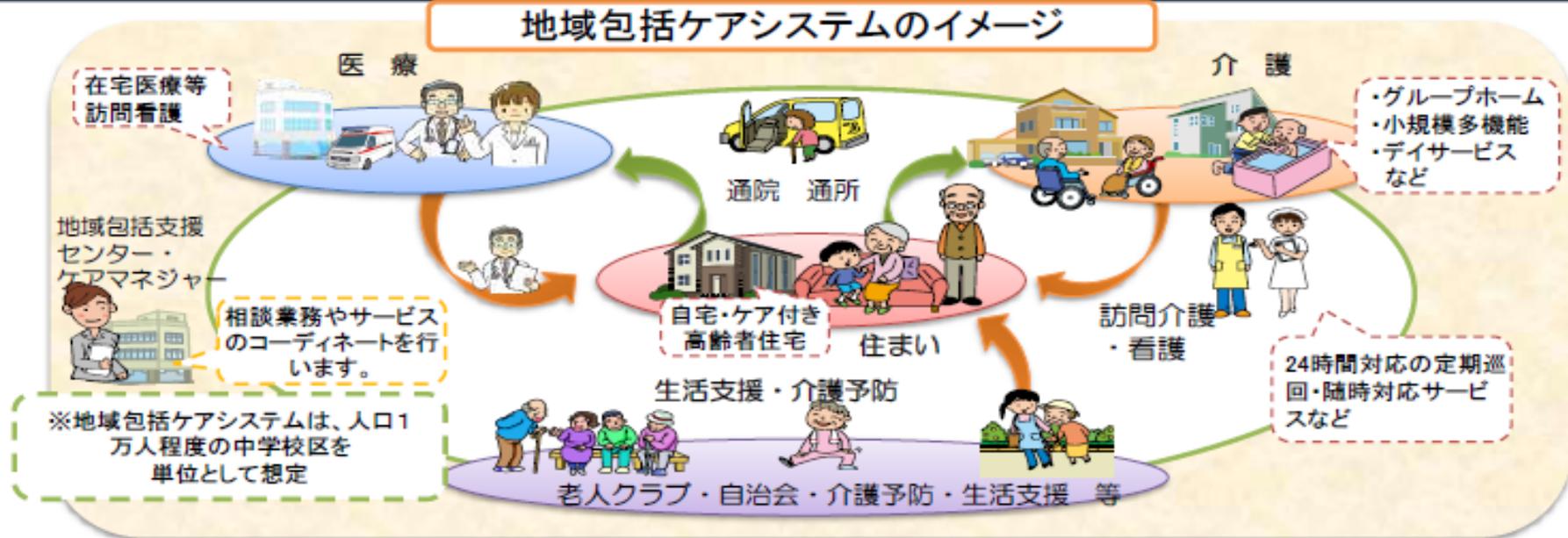


- **それぞれの職種は互いに意思の疎通を図り、自己の専門領域を超え、できることは積極的にカバーしあいながら協業する。**

# 在宅医療・介護あんしん2012

## 地域包括ケアシステム

### 地域包括ケアシステムのイメージ



# 在宅チーム医療教育推進プロジェクト

～患者と家族の思いを支え、在宅チーム医療を実践できる医療人養成プログラム～

医歯保  
薬  
[指導スタッフ]  
↑  
[卒後教育]  
↑  
5～ 3～  
6年 4年  
↑  
3～ 2～  
4年 3年  
↑  
1～2年

～態度～ 思いを受容し支える力	～知識～ チームでの問題発見・解決能力	～技能～ 在宅医療実践力
<p>高齢者、在宅患者と家族の思い、語り(narrative)を受け入れ、支えるためのコミュニケーション、医療ヒューマニズムを涵養する。</p>	<p>高齢者、在宅患者の抱える問題を発見し、解決するために、多職種が連携・協働し、最善の治療・ケアを立案・実践する能力を修得する。</p>	<p>在宅医療のシステムを理解し、高齢者・在宅患者と家族のQOL・ADLを評価・支援する、多職種が共有すべき専門的な技能を修得する。</p>
<p>【地域の多職種のスタッフと連携し、患者とその家族を支える】 ・学部連携在宅医療実習 30地域</p>		
<p>・病院実習(学部連携病棟実習含む)、地域実習、薬局実習</p>		
<p>【患者と家族のナラティブに応える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅シミュレーション実習 (ロールプレイ、患者・家族との対話)</li> <li>・高齢者コミュニケーション演習</li> </ul>	<p>【在宅チーム医療実践の基盤を構築する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4学部連携PBLチュートリアル (臨床判断・問題解決型)</li> </ul>	<p>【在宅患者を支える技能を修得する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療支援実習 (服薬支援、医療・生活介助、フィジカルアセスメント実習)</li> </ul>
<p>【患者と家族の思いに共感する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療の倫理 (2年)</li> <li>・地域高齢者訪問実習 (1年)</li> </ul>	<p>【在宅チーム医療の問題を共有する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4学部連携PBLチュートリアル (課題発見型) (1年)</li> </ul>	<p>【患者を支える仕組みと技能を知る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設体験実習 (1年) (支援の仕組みと技能の見学)</li> </ul>



電子ポートフォリオ (成長のプロセスの評価)

# 取り組みの実施体制

評価・点検  
第三者委員会

昭和大学

評価

学長

在宅チーム医療教育推進委員会

在宅チーム医療教育推進室

地域医療教育WG

学内教育WG

指導薬剤師養成WG

ワークショップWG

教育ツールWG

地域連携実習構築WG

情報WG

医学部

歯学部

薬学部

保健医療学部

富士吉田教育部

連携

- ・地域(医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、理学・作業療法士協会、介護支援専門員協会など)
- ・大学病院、地域医療施設(診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護STなど)

# 「地域医療入門」 前期・後期 (1年)

【患者と家族の思いに共感する】 【在宅チーム医療の問題を共有する】  
【患者を支える仕組みと技能を知る】

## ➤ 講義

地域医療とは、高齢者の生活とは・・・

## ➤ 学内実習・演習

血圧測定、採血  
PBLチュートリアル

## ➤ 学外実習

福祉施設訪問  
早期体験実習  
高齢者宅訪問

120名程度の高齢者宅へ学生グループが訪問



# 富士吉田市 堀内市長への依頼 (平成26年9月3日)



# 2～4年(Nr2～3年) 学部連携カリキュラム(案)

【患者と家族のナラティブに応える】【在宅患者を支える技能を修得する】

## 「在宅医療の倫理」 2年

在宅医療の倫理的な課題に関わる講演とグループ討議



## 「高齢者コミュニケーション演習」「在宅医療支援実習」 3年(Nr 2年)

- ・高齢者とのコミュニケーション演習や見学(診療所または在宅)
- ・在宅で用いられる臨床技能の実習  
(服薬支援、医療・生活介助、フィジカルアセスメント)

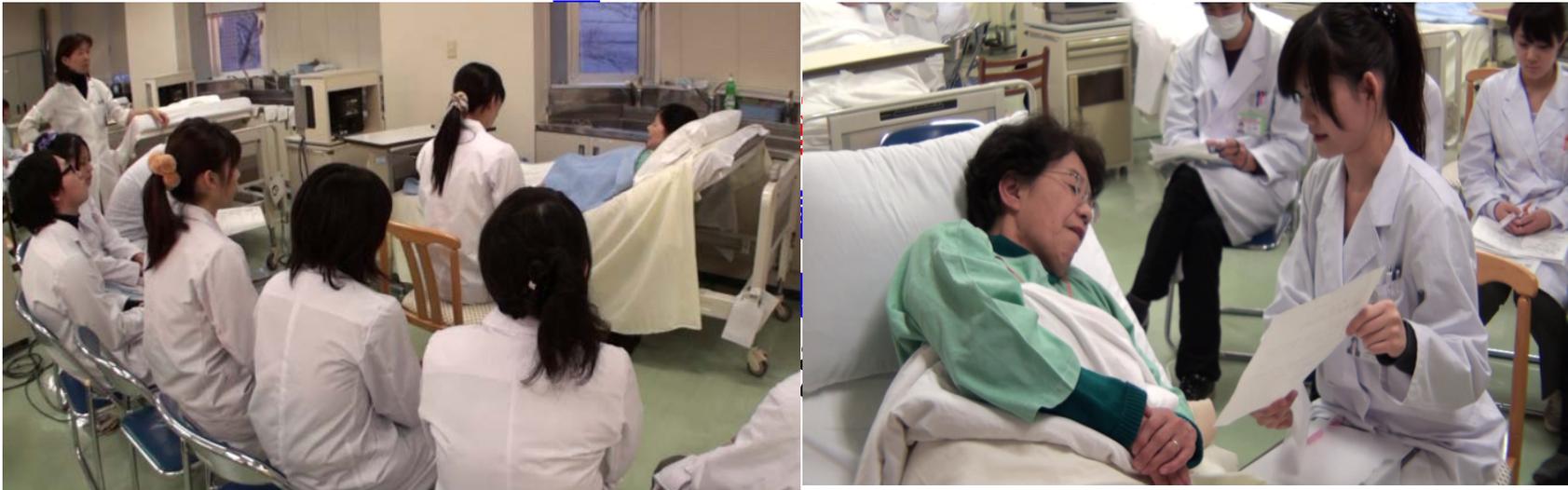


# 2~4年(Nr2~3年) 学部連携カリキュラム(案)

【患者と家族のナラティブに応える】【在宅患者を支える技能を修得する】

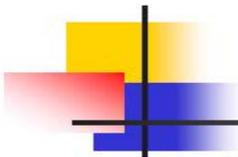
## 「在宅医療の倫理」 2年

在宅医療の倫理的な課題に関わる講演とグループ討議



## 「在宅シミュレーション演習・実習」 4年 (Nr 3年?)

・在宅をイメージしたシミュレーション実習



# 2～4年(Nr2～3年) 学部連携カリキュラム(案)

【患者と家族のナラティブに応える】【在宅患者を支える技能を修得する】

## 「在宅医療の倫理」 2年

在宅医療の倫理的な課題に関わる講演とグループ討議



## 「高齢者コミュニケーション演習」「在宅医療支援実習」 3年(Nr 2年)

- ・高齢者とのコミュニケーション演習や見学(診療所または在宅)
- ・在宅で用いられる臨床技能の実習  
(服薬支援、医療・生活介助、フィジカルアセスメント)



## 「PBLチュートリアル」 3or4年(Nr 2～3年)

## 「在宅シミュレーション演習・実習」 4年(Nr 3年)

- ・在宅をイメージしたシミュレーション実習

# 4学部連携PBLチュートリアル

3 or 4年(Nr3年)

【在宅チーム医療実践の基盤を構築する】

在宅医療の場面のビデオ・シナリオをもとにグループ討議

※4学部合同グループ（約70）



学部合同チームでできることを検討・提案

※実際の患者のビデオをもとにDVDとシナリオ作成

在宅患者の思いや不自由さがイメージできるもの



# 学部連携地域医療実習 (選択)

## 医歯薬6年、保4年

- ✓学部合同学生チーム: 1チーム4名まで
- ✓実習期間: 2週間×2回
- ✓実習内容:



- 地域において通院不可能な患者に対する**在宅医療をチームで実施している地域**で、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、福祉介護施設の連携の取れた地域医療を**参加型実習**で学習
- 在宅医療、在宅介護に参加し、**在宅患者を担当し**、各専門職の立場から理解し、最善の医療・介護を**医療チームとして討議し提案**
- 在宅医療に関わる**様々な専門職の役割を見学**を通して相互に理解